

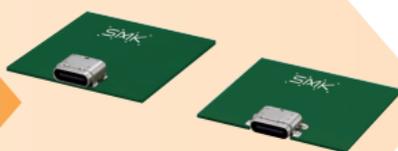
株主・投資家のみなさまへ



第98期中間経営報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

Connection
System
Division



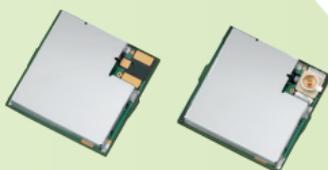
USB Type-C®レセプタクル

Sensing,
Communication
& Interface
Division



IR blaster「ステッカー®」

Research &
Development
Center



Sigfox RFモジュール
「WF931シリーズ」

CREATIVE CONNECTIVITY

もっと創造的に、もっと繋がる



代表取締役社長
池田 靖光

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第98期中間期（2019年4月1日～2019年9月30日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2019年11月

当中間期の概況

当中間期における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化、英国のEU離脱問題の混迷、地政学リスクなどの政治的要因により全体としては緩やかに景気が減速することとなりました。米国経済は底堅く推移したものの、中国経済は減速し、日本経済も低成長の域にとどまることとなりました。

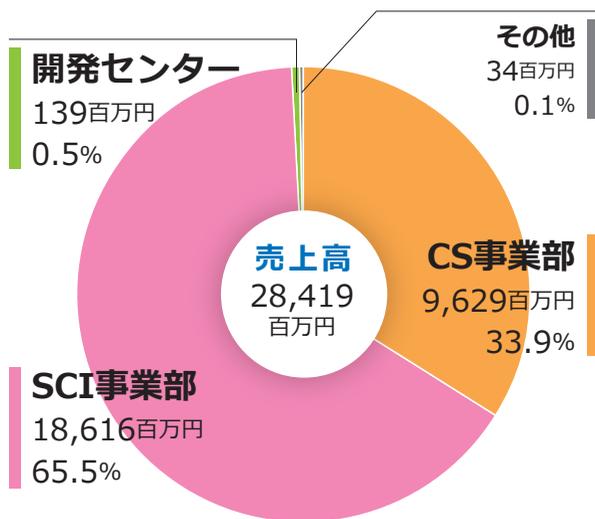
当社グループにおきましては、家電市場では米国得意先向けセットトップボックス用リモコンが大きく売上増加に貢献しました。一方、車載市場では車載用操作ユニットやカメラモジュールは順調に拡大しましたが、中国を中心とした世界的な自動車の販売不振の影響を受けコネクタは横ばいで推移し、タッチパネルは低調に終わりました。

また、情報通信市場では、スマートフォン用コネクタは中国得意先向けは堅調に推移しましたが、米国得意先向けは前年を下回りました。

このような状況のもと、当社は積極的な新製品の投入、生産性の向上、固定費削減に努め、当中間期における連結業績は前年同期比増収となり、営業損失は前年同期に比べ減少いたしました。

このような環境下で、当社は持続的な成長の実現に向け、事業部の再編による新規ビジネスの発掘や新規市場の開拓に加え、パートナー様との協業やオープンイノベーションの推進による新規事業創出への取り組みを積極的に進めてまいります。

当社はこれからも、「CREATIVE CONNECTIVITY」というスローガンのもと、社会やお客様のさまざまな課題を解決していくチャレンジ精神を持ち、独創的なアイデアを創出するクリエイティビティと、課題を解決するソリューション力を提供することにより、より良い社会と未来の創出に貢献できる企業を目指してまいります。



※ その他：その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業及び労働者派遣事業を含んでおります。

SCI事業部

Sensing, Communication & Interface Division

[主要品目]

- リモコン
- スイッチ
- カメラモジュール
- タッチパネル



200万画素 車載用カメラモジュール
用途：フロントセンシング、ドライブレコーダー

リモコンは、米国得意先向けセットトップボックス用が順調に売上拡大し、前年を大きく上回る結果となりました。また、ユニットは、車載用操作ユニットや車載用カメラモジュールは順調に拡大しましたが住宅設備用が減少し、前年同期比で微増となりました。スイッチは、スマートフォン用が増え、前年を上回りました。一方、タッチパネルは、主力の車載用が液晶メーカーによるタッチパネルモジュール化の加速や、中国マーケットでの自動車販売減などの影響により、前年を割り込む結果となりました。

SCI事業部全体ではタッチパネル事業の減少を、リモコン事業の拡大が大きくカバーし、前年を上回る結果となりました。

CS事業部

Connection System Division

[主要品目]

- 同軸コネクタ
- 基板対基板コネクタ
- FPCコネクタ
- ジャック



防水FAKRAコネクタ
用途：車載機器（アンテナ接続、カメラモジュール接続用）

コネクタは、車載市場では米中貿易摩擦の影響などによる中国を中心とした世界的な自動車販売不振の影響により伸長率が鈍化し、前年同期比で横ばいとなりました。一方、情報通信市場においては、中国得意先のスマートフォン用は堅調に推移しましたが、米国得意先のスマートフォン用が競合コネクタメーカーとの競争激化や得意先の販売不振などの影響を受け、前年を下回りました。産機・その他市場においては、ヘルスケア関連用が主力市場での普及の一巡により需要が減少し、前年を下回る結果となりました。

開発センター

Research & Development Center

[主要品目]

- 通信モジュール

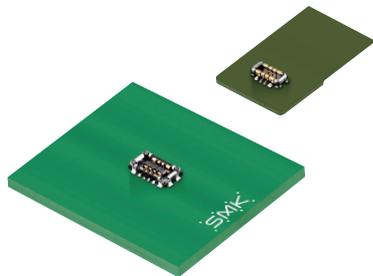


Bluetooth® low energyモジュール
「BTS05シリーズ」
用途：モバイルプリンタ、ハンディターミナル等の事務機器

開発センターの主力事業の無線通信モジュールにおいては、Bluetooth® モジュールがプリンター用は順調に拡大しましたが、決済端末用は得意先生産機種への切り替えにより売上減となりました。

なお、当セグメントでは新規無線モジュールと総務省から委託を受けた技術開発をベースとした実証実験を行いながら、IoT運用管理技術の来年度の事業化を目指しております。

バッテリー接続用 FPC対基板コネクタ「FB-10シリーズ」



モバイル機器市場において、機器の小型化にともない、バッテリー接続用コネクタにも、より一層の小型化、薄型化が求められています。当製品は嵌合高さ0.6mmの低背であり、また基板占有面積で当社従来比40%以上の省スペース化を実現しております。



<用途>

スマートフォン、
ウェアラブル機器 など



詳細はこちら



CS事業部

ミニ1ドームスイッチ



独自構造採用により“はんだレス”で実装できる小型(当社従来比15%減)のドームスイッチです。はんだ破壊の心配がなく、安定した接触信頼性を実現します。



<用途>

ウェアラブル機器、
スマートフォン など

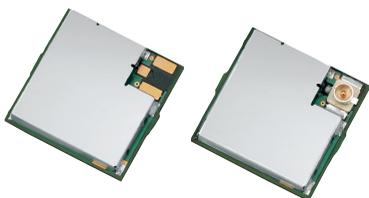


詳細はこちら



SCI事業部

Sigfox RFモジュール「WF931シリーズ」



LPWA(Low Power Wide Area)市場における、センサー等ごく小さいデータ量の通信ニーズに対応するため、低価格・省電力・長距離伝送を実現するWF931シリーズSigfox RFモジュールを製品化しました。



<用途>

環境管理(農場の温湿度管理等)、
検針(水道、ガス等) など



詳細はこちら



開発センター

新任取締役・監査役のご紹介

2019年6月25日(火) 東京・ゲートシティ大崎のゲートシティホールにて、第97回定時株主総会を開催いたしました。

今回選任された新任の取締役1名と監査役1名をご紹介します。

取締役常務執行役員

原 哲雄 Hara Tetsuo

2007年 当社入社
2014年 当社執行役員、営業副本部長
2018年 当社常務執行役員(現在)
2019年 当社営業本部長(現在)
当社アジア圏営業担当(現在)
当社取締役(現在)



<就任の抱負>

時代はかつてないスピードで変化を遂げており、当社にも大きな変革が求められています。長い当社の歴史で培われた守るべき大切な文化と、時代に合わせて変えるべきものをしっかり見極め、スピード感を持って当社の変革に取り組んでまいります。

監査役(社外)

西村 文男 Nishimura Fumio

1981年 株式会社三菱銀行
(現:株式会社三菱UFJ銀行) 入行
2011年 エムエステイ保険サービス株式会社
専務取締役
2013年 日本カーバイド工業株式会社 常務取締役
2016年 同社代表取締役専務執行役員
2019年 株式会社京三製作所 社外監査役(現在)
当社監査役(現在)



<就任の抱負>

金融機関、メーカー勤務を通じて培った経験を活かし、社外監査役として第三者の立場から客観的な意見を述べ、SMKの健全な発展に寄与できるよう努めてまいります。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,596,127株
発行済株式の総数	7,500,000株
株主数	6,953名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
SMK協力業者持株会	389	6.04
株式会社みずほ銀行	324	5.03
日本生命保険相互会社	324	5.03
大日本印刷株式会社	320	4.96
株式会社三菱UFJ銀行	250	3.89
SMK社員持株会	208	3.24
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	193	3.00
三菱UFJ信託銀行株式会社	180	2.79
公益財団法人昭和池田記念財団	150	2.33
明治安田生命保険相互会社	137	2.14

(注) 当社は自己株式1,051千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しており、また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には役員株式給付信託が保有する当社株式43千株を含めております。

株式に関するお問合せ先・手続き先

- 配当金のお振込、単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、住所変更等のお手続き窓口は次のとおりです。

証券会社に口座を開設されている株主様	→	口座を開設された証券会社にご照会ください。
証券会社に口座を開設されていない(特別口座に記録されている)株主様	→	当社の特別口座の口座管理機関(兼株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(0120-232-711 通話料無料)にご照会ください。

● 買取・買増請求制度の例(170株ご所有の場合)



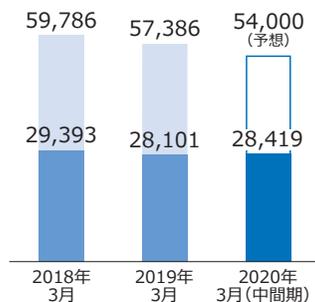
- 配当金をお受け取りになっていない株主様は、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先にご連絡ください。

売上高

(単位：百万円)

28,419百万円
(前年同期比 1.1%増 ↑)

■ 中間期 ■ 通期

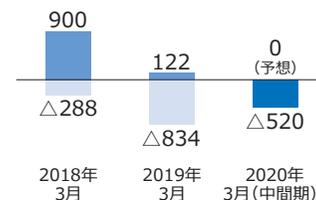


親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

(単位：百万円)

△520百万円
(前年同期は122百万円)

■ 中間期 ■ 通期

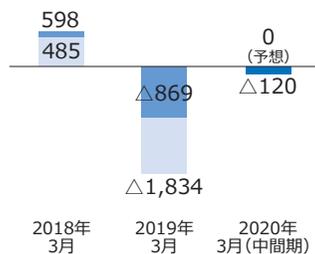


営業利益

(単位：百万円)

△120百万円
(前年同期は△869百万円)

■ 中間期 ■ 通期



1株当たり四半期 (当期) 純利益

(単位：円)

△80.49円
(前年同期は18.52円)

■ 中間期 ■ 通期



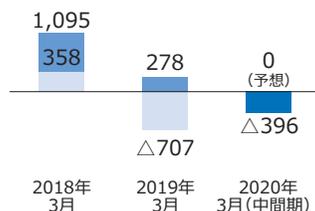
※2018年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり情報は当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

経常利益

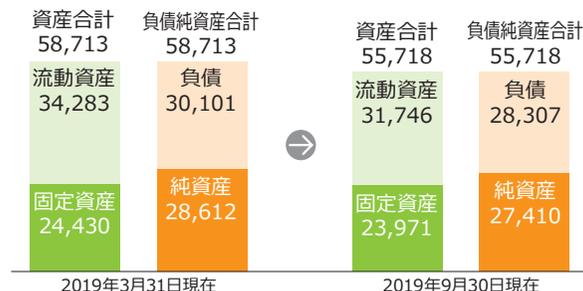
(単位：百万円)

△396百万円
(前年同期は278百万円)

■ 中間期 ■ 通期



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)





コーポレートデータ (2019年9月30日現在)

Corporate Data

会社概要

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年(大正14年)4月3日
設立	1929年(昭和4年)1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数(SMKグループ)	5,896名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号 TEL (03)3785-1111(代表) FAX (03)3785-1068

役員一覧

取締役および監査役

代表取締役社長	池田 靖光
代表取締役副社長	角 芳幸
取締役常務執行役員	ポール エヴァンス
取締役常務執行役員	原 哲雄
取締役(社外)	中村 利雄
取締役(社外)	石川 薫
常勤監査役(社外)	福井 盛一
監査役(社外)	中島 成
監査役(社外)	西村 文男

執行役員

常務執行役員	大垣 幸平
常務執行役員	柳 茂哉
常務執行役員	池尾 政信
執行役員	石橋 竹己
執行役員	後藤 光彦
執行役員	増淵 充行
執行役員	宇佐美 博
執行役員	大日方 淳
執行役員	秦 史和

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<https://www.smk.co.jp/>



スマートフォンからはこちら



※ ステッカーは、SMK株式会社の登録商標です。

※ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、SMK株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

※ USB Type-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

※ その他記載されている社名・商品名などは、各社の商標および登録商標です。

SMK株式会社